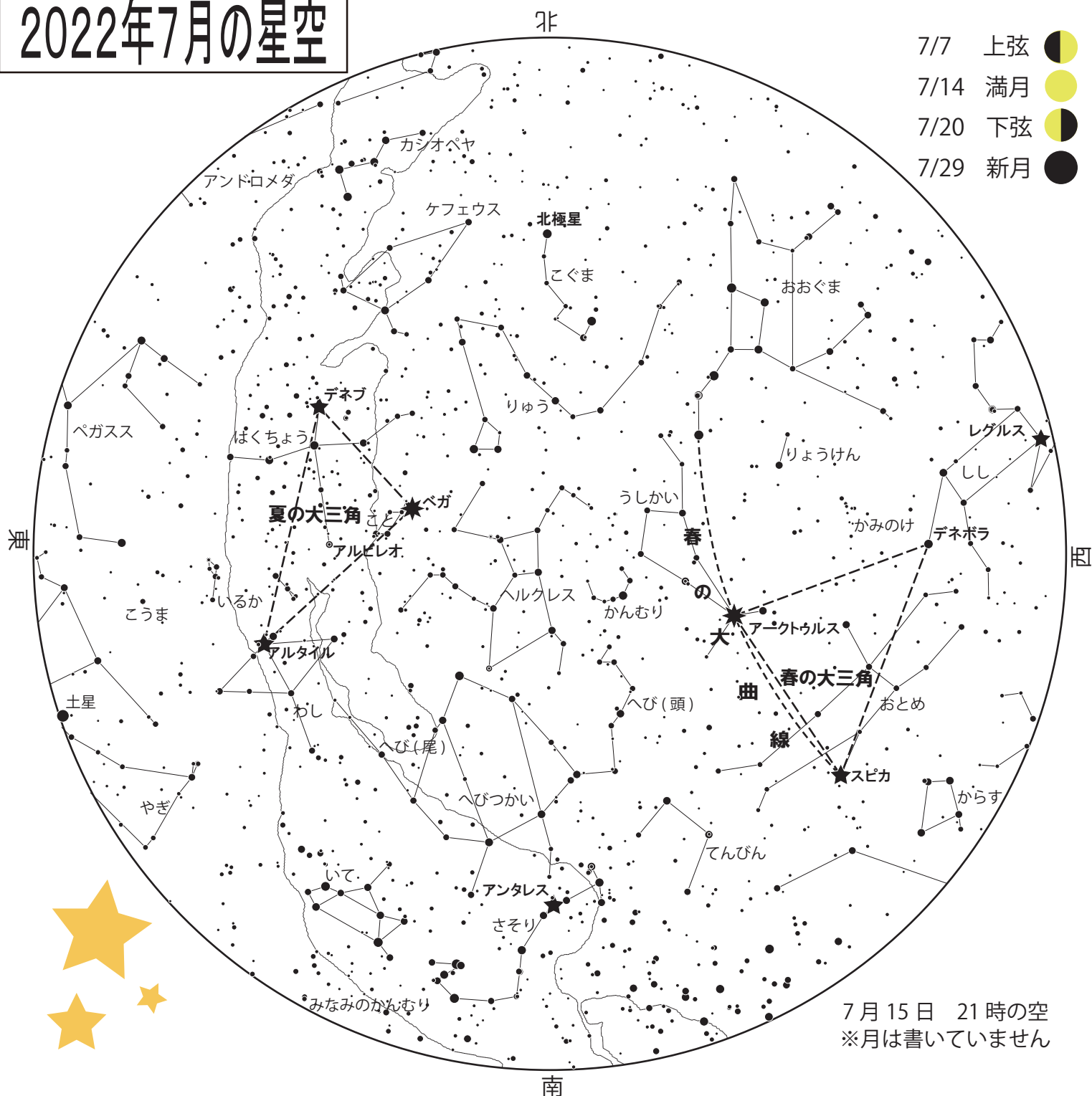


姫路で見る 2022年7月の星空

図の中心が頭の真上(天頂)、まわりの円が地平線です。
この星図は見ている方向の方位を下にしてください。



- 7/7 上弦 
- 7/14 満月 
- 7/20 下弦 
- 7/29 新月 

7月15日 21時の空
※月は書いていません

西の空に目を向けると、うしかい座の**アークトゥルス**が明るく目立ちます。アークトゥルス、おとめ座の**スピカ**、しし座の**デネボラ**を結ぶと「**春の大三角**」、北西の空に見える**北斗七星**からアークトゥルス、スピカを結ぶと「**春の大曲線**」ができあがります。春の大曲線を境に、南の空と東の空には夏の星座たちがやってきています。

南の空の低い所には、夏を代表する星座の**さそり座**が見えています。赤く輝く明るい**アンタレス**が目印です。さそり座の隣には**いて座**も見えます。東の空には、こと座の**ベガ**、わし座の**アルタイル**、はくちょう座の**デネブ**を結んでできる「**夏の大三角**」が目立っています。ベガは七夕の織姫星で、アルタイルが彦星です。さそり座の辺りから夏の大三角を通過して、北の空まで天の川が流れています。月のない夜、街明かりの少ない所で目を凝らすと天の川が見れるかもしれません。

土星が東の空に見えています。秋になると観望の好機です。